



車内の金城学院大学

31限目

「生活経営学」

「時間がたつと老化するお金がある!？」

[消費と経済の関係]

1932年、世界大恐慌真っ只中のオーストリアのヴェルグルという町で深刻な不況対策として、ある地域通貨が発行されました。それはなんと、毎月1%ずつ額面金額が減っていく(老化する)お金。使わないと損をするだけに町の人はずっとお金を使い、その結果、経済は大いに活性化。深刻だった失業問題もみるみるうちに解決したのです。国家の通貨との混乱を避けるためにわずか1年程度で廃止されてしまいましたが、お金を社会に循環させることの重要性を教える恰好の事例となりました。そもそもお金とは商品や労働力の交換手段であり「経済の血液」としての役割を持っています。その循環を促すための様々な試みが今も世界各地で行われているのです。

経済の仕組みを知り、社会や人生に活かす。それが生活環境学部 生活マネジメント学科。

10/22(土)
オープンキャンパス開催!

2012年4月スタート!
国際情報学部

強く、優しく。



金城学院大学